

空き家の情報をご提供ください

空き家をそのまま放置すると、近隣の方に迷惑をかけるだけでなく、防犯・防災上危険であるとともに、衛生面や景観を含め快適な生活環境を損なっています。

市内で管理が不十分と思われる空き家がありましたら情報をご提供ください。お寄せいただいた情報をもとに今後の対策のため基礎資料を作成し、現地調査を行います。

◆空き家とは

建築物またはこれに付随する工作物で使用されていないことが常態であるもの(おおむね1年以上使用されていないと思われる家屋等)で、敷地内の立木や擁壁を含む。

◆提供いただきたい情報

- ・空き家の所在地(住所や近隣の情報)
- ・空き家の状況(雨戸が閉まったままである、敷地内の草木が繁茂している、屋根や壁が破損している等)

☎地域づくり課環境対策班 ☎0475(70)0386



10月23日(日)実施 総合防災訓練スケジュール等

〈第一部 津波避難訓練〉

時刻	内容	訓練行動
9:00	・緊急地震速報放送 ・震度6の地震発生	シェイクアウト行動開始(①姿勢を低くし②体や頭を守り③揺れが収まるまでじっとする)。1分後、身の回りや家族、近所の安全確認。避難することを考え、避難荷物等を整える。
9:03	・大津波警報発表の放送 ・緊急速報メールの送信	津波避難区域についてはそれぞれ安全を確保できる場所へ避難開始。近所への声かけ等共助による避難を心掛ける。
9:08	・避難指示発令 ・緊急速報メールの送信 ・消防団巡視開始	津波避難区域について、まだ避難開始できていない人は早急に避難開始。避難所等、津波警戒区域外に避難することが困難な場合は津波避難ビル等の高台に避難する。
9:20	・消防団は津波避難区域から避難	情報収集を行いながら(放送や緊急速報メール等)、避難行動を継続する。
9:40	・津波到達の放送 ・緊急速報メール送信	警報が解除されるまでは避難行動を続ける。身の安全を確保できた場合は、ほかの避難者の補助や家族・知人の身の安全を確認する。
9:50	・津波避難訓練終了の放送 ・緊急速報メール送信	津波避難訓練終了。第二部の防災体験コーナーに参加。(本来は帰宅場所が帰宅できる状況か確認し、浸水、倒壊等で帰宅できない場合は避難生活の準備を行う)
9:50~	・白里小学校へ移動	白里小学校以外の津波避難ビルに避難した方については、シャトルバスで第二部の防災体験コーナー会場の白里小学校へ移動できます。

・防災行政無線やサイレン、緊急速報メールを使用しますので、実際の災害と間違えないようお願いいたします
・交通ルール等を遵守して訓練へ参加してください
・小雨決行

〈第二部 防災体験コーナー〉

催事名	概要	
防災講演(体験談)	東日本大震災において被災地で活動した方を語り部としてお招きし、体験談や教訓等をお話していただきます。	
防災講演(小学生向け防災全般)	災害から命を守るための防災全般に関する講演を行います。	
体験	水消火器による初期消火訓練	慌てず、騒がず、冷静に消火器が使えるよう使い方をマスターしましょう。
	AEDの使い方訓練	いざというとき、正しく使用できるようAEDの使い方を学びましょう。
	三角巾の使い方訓練	身近にあるもので初期の応急手当ができるよう、三角巾の使い方を学びましょう。
	地震体験車	震度7までの地震を体験することができます。
	煙体験ハウス	煙の広がりは火よりも早く、本当に怖いのは煙であると言われています。煙により視界が奪われた場合でも、冷静に避難できるように訓練しておきましょう。
	災害伝言ダイヤル体験コーナー	被災地への通信がつながりにくい状況になった場合に開設される声の伝言板。素早く安否を伝えるため、利用方法を体験しましょう。
展示	災害救護用包装食袋(ハイゼックス)炊き出し	簡単に米が炊け、箸やスプーンなしで食べられるハイゼックスを使った炊き出し訓練を行います。備蓄用常温レトルトカレーと一緒に試食してください。炊き出し体験もできます。
	自衛隊野外炊具による炊き出し	野外で大量の調理を行うことができる野外炊具を使って小学生用のカレーライスを作ります。
	震災パネル展示	東日本大震災を風化させず、また、今一度家庭で防災のあり方を考えるきっかけとなるよう、震災パネルを展示します。
	非常時持ち出し袋・非常用糧食展示	非常時に必要となる持ち出し品や自衛隊の隊員が実際に使用している携行食を展示します。
	防災士会による防災体験コーナー(小学生向け)	小学生向けの防災体験(防災紙芝居等)を行います。
	Lアラート(災害情報共有システム)展示	Lアラートとは、安心安全に関わる公的情報を住民に正確かつ迅速に伝えることを目的とした情報基盤です。災害時には、どのように情報が伝達されるのか展示します。
S-net展示	防災科学技術研究所によるS-net(日本海溝海底地震津波観測網)の概要・仕組みについて展示します。	
多文化共生(通訳)	防災訓練会場内において、災害時の対応等外国人住民の支援を行います。	

※会場=白里小学校、時間=10時~14時 ※訓練内容等は変更となる場合があります

☎安全対策課消防防災班 ☎0475(70)0303

ごみの減量化にご協力をお願いします

◆リサイクル回収倉庫

市が実施している、ごみの減量化に向けた取り組みの一部を紹介します。

市内4か所の公共施設内(市役所、中部コミュニティセンター、白里出張所、農村ふれあいセンターやまへの郷)にリサイクル回収倉庫を設置して、新聞紙や衣類などを回収し、リサイクルしています。

◆回収品目 新聞紙(チラシを含む)、雑誌、衣類、ダンボール、飲料用紙パック、コピー用紙、雑がみ

◆利用時間 8時30分~17時(年末年始を除く)
※中部コミュニティセンター

◆リユース情報コーナー

市役所玄関ロビーに、「リユース情報コーナー」を設置しています。使わなくなったものを譲ったり、譲ってもらったりする場です。地域づくり課窓口にて申請できますので、ごみとして捨ててしまいう前にぜひ一度ご利用ください。

◆廃食用油の回収

ご家庭から出る使用済み天ぷら油などの廃食用油を回収しています。一度こしてからペットボトルに移し替えて回収箱に入れてください。

◆生ごみたい肥化装置の設置費補助

生ごみは、たい肥化させると有機肥料として活用できます。また、庭木のせん定枝等は、細かく破碎しウッドチップにして、家庭菜園や花壇にまくことができます。市では、これらのたい肥化装置等(コンポスト等)の購入費用の一部を助成しています。

◆対象機器 Ⅱコンポスト容器・発酵たい肥化装置・機械式処理機・家庭用小型せん定枝破碎機

◆申請方法等の詳細は、問い合わせください。
☎0475(70)0386

◆資源ごみの集団回収への奨励金

学校や自治会等の団体が資源ごみを回収し、業者へ売り渡した場合、その団体に対して奨励金を交付しています。

◆対象 紙類・布類・ビン類・カン類

◆奨励金 1kgあたり3円
ごみの減量化には、皆さんのご協力が不可欠です。リサイクルできるものはリサイクルする、生ごみの水切りを徹底するなど、ご協力をお願いします。
申請方法等の詳細は、問い合わせください。
☎0475(70)0386

環境審議会委員を募集します

市では、環境の保全に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るための「大網白里市環境基本計画」を策定するにあたり、市民の皆さんの意見を反映するため、環境審議会委員を募集します。審議会は、平成28・29年度に各年度2回程度、開催予定です。

- ▶募集人数=2人
- ▶資格=次の条件をすべて満たす方
- ・本市在住で、平成28年4月1日現在で、満18歳以上の方
- ・本市の常勤職員、または国・地方公共団体の議員でない方
- ・平日昼間の会議に出席できる方

▶応募方法
指定の募集用紙に必要事項を記入し、「これからの環境保全について」をテーマにした小論文(800字以内)を添えて、持参、郵送、ファクス、またはメールにて提出 ※応募用紙は、地域づくり課、中部コミュニティセンター、白里出張所の窓口で配布(市ホームページからもダウンロードできます)

▶募集期限=10月14日(金)17時必着 ※持参の場合は、(土)・(日)・祝日を除く
▶選考方法=書類選考のほか、必要に応じて面接を行う場合があります。
※選考結果は、応募者全員に通知します

☎0475(70)0386 FAX 0475(72)8454
☎0475(299)-3292 大網白里市大網115-2 地域づくり課環境対策班
☐chiiki@city.oamishirasato.lg.jp

10月1日(土)は浄化槽の日

浄化槽は生き物です！正しく使ってきれいな水に！

◆浄化槽の清掃

年1回以上行うことが法律で義務付けられています。山武郡市広域行政組合の許可を受けた業者に依頼しましょう。

◆許可を受けた業者
(株)五十嵐商会(東金市) ☎0475(58)5249
(株)新興ウオターマネージメント工業(東金市) ☎0475(54)2231

(有)環境衛生センター(東金市) ☎0475(58)2304
(有)渡辺清掃(東金市) ☎0475(58)3308

(有)甲斐浄化槽サービス(大網白里市) ☎0475(77)1717
(有)成東浄化槽センター(山武市) ☎0475(82)0202

☎0475(54)0531

☎0475(54)0531

☎0475(54)0531

☎0475(54)0531

☎0475(54)0531